

小学校5・6年生～

2022年9月 no.83

2022

# よんごネット\*

秋号

発行□茅ヶ崎市立図書館／協力□茅ヶ崎図書館子どもの本の会



講談社 [913才]

## 『天の台所』 落合由佳

料理上手のばあちゃんが亡くなつて以来、小6の少年「天」の家族は、食事も心も荒れていた。卵もうまく割れない天だったが、「ばあちゃんの台所を受け継ぎたい!」と決心。口うるさい「がみババ」に料理を習い始める。「誕生日ケーキ」「運動会のお弁当」「カレー」。天は、家族のお腹と心を満たさうと、料理修行を続けるが…。

## 『日本のことばずかん いろ』 監修 神永暁

柿は、何色？ オレンジ色？ この本の中の、  
おいしそうなつるし柿の写真を見て！  
柿はやっぱり、かきいろ!! 古くから伝わることばには、身近な自然や、大切にしてきたものへの人々の思いがこめられて  
いる。たまご色、あめ色も、おいしそう。

ことばに関する自然の写真や日本の  
絵画がたくさん紹介されています。

\*『日本のことばずかん』は、ほかにも  
『そら』『かず』があります。全3冊

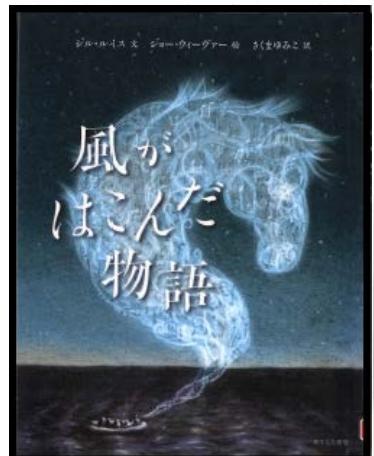


講談社 [81才]

## 『風がはこんだ物語』

ジレ・ルイス文 ジョー・ウェーヴァー絵 さくまゆみこ訳

戦争や迫害によって故郷を追われ、とるものも  
とりあえず小さなボートに乗り合わせた人たち。  
14歳のラミはバイオリンだけを持って逃げてきた。  
暗い海。不安でいっぱいの人たちは、ラミに何か  
弾いてくれとしたのんだ。彼は「スーソの白い馬」の  
物語を風にのせて語った…。でもエンジンも  
止まり、海をたどりようボートで目的地へたどり  
つけるたとうか。



あすなろ書房  
[933ル]



偕成社 [943ヘ]

## 『ヨーンじいちゃん』ペーター=ヘルトリング作 上田真而子訳

頑固なけれど、心やさしいぼくのヨーンじいちゃん。  
新しい家で一緒に住むことになったけど、毎日ハラハラすることばかり。いきなり壁を真っ白にぬりかえたり、三角布の水泳パンツで泳いたり、そのうえ、恋をしてたり！  
「おい、孫ぼうず…わしはまだまだうっとりとして、わくわくして、首ったけになることができるんだ。」

## 『和ろうそくは、つなぐ』 大西暢夫

和ろうそくって、どうやって作られ、なにからできているのだろう。「捨てるものはひとつもないんです。昔の人は本当によく考えていますね」と、和ろうそく職人の松井さんは言う。和ろうそくの原料の蠟から、藍染、焼き物、和紙、灯心、墨、真綿、そしてまた、和ろうそくへ…。

職人の知恵と、モノづくりはつながっていく。



アリス館 [57オ]